

令和2年度版 改善計画

学校名：甲府南高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・ 会議の長時間化 ・ 内容の混在する複数の会議	・ 資料・在り方の見直し ・ 会議の再編成	①学年会議を機能的に運用する。 ②会議資料の電子化を行い、印刷時間と紙使用量を削減する。	
2	学校行事の負担軽減	・ 行事の増加 ・ 学習への圧迫	・ 内容を精査した上での適 正な縮小・削減	①学校行事の目標を明確にし、効率的な教育活動を行う。 ②進路関係行事・生徒会行事を中心に内容を見直す。	
3	校内組織の見直し	・ 業務量の偏り ・ 教職員数の減少	・ 業務内容の明確化 ・ 業務の適正分担	①会計業務の適正化を図る。 ②分掌の業務の割り振りを見直す。	
4	業務の効率化	・ 資料作成業務の肥大化 ・ 業務遂行の長時間化	・ 簡潔かつ適切な資料作成 ・ 業務遂行の短時間化	①各資料の実質的な効果を検証し、その簡潔化を進める。 ②G Suiteの利用で、連絡・意見交換・情報共有の効率化を進める。	
5	部活動の負担軽減	・ 部休日設定の徹底不足 ・ 一教諭が複数の部を担当	・ 部休日の適正配置 ・ 正副顧問の相互協力	①計画的に部休日を設定し、月2回のきずなの日を完全実施する。 ②学校規模及び生徒数に見合った部活動組織体制を検討する。	
6	地域人材の活用	・ 課題研究等における多様な 指導・助言	・ 本校卒業生を中心とし 人材の活用	①指導・助言のできる人材を発掘し、南高アカデミーの充実を図る。 ②年間を通して計画的に南高アカデミーを活用する。	
7	SSH業務の効率化	・ 分掌への業務集中	・ 全職員による事業推進体 制の構築	①4期業務(高大接続関係)の全職員への周知と体制の構築を図る。 ②全職員が全体像を俯瞰し、目標を共有して業務に当たる。	
8	週休日及び長期休業 中の行事の負担軽減	・ 長期休業中の行事の多さ ・ 週休日行事の多さ	・ 内容の精査と削減 ・ 週休日の振替完全実施	①長期休業中に生徒の校内活動休止日を設定し実施する。 ②平日へ移行できるもの、削減可能なものを検討する。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった